

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公表番号】特表2007-536104(P2007-536104A)

【公表日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-048

【出願番号】特願2007-513149(P2007-513149)

【国際特許分類】

B 2 4 D 11/00 (2006.01)

B 2 4 D 3/00 (2006.01)

A 4 7 L 13/16 (2006.01)

【F I】

B 2 4 D 11/00 D

B 2 4 D 3/00 3 3 0 G

A 4 7 L 13/16 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月1日(2008.4.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

不規則に配列された纖維から構成される不織布と；該不織布の纖維に接着された、モース硬度が2以上の接着剤と；該接着剤によって不織布に接着された研磨粒子とを、有する実質的に嵩高な不織布研磨材において、

該研磨粒子が平均粒径0.1～1mmかつモース硬度2～4の軟質大寸法粒子と平均粒径1～10μmかつモース硬度8以上の硬質小寸法粒子とを含有してなる不織布研磨材。

【請求項2】

前記軟質大寸法粒子の粒径が硬質小寸法粒子の粒径の10～1000倍である請求項1記載の不織布研磨材。

【請求項3】

前記接着剤のモース硬度が軟質大寸法粒子のモース硬度と同程度である請求項1記載の不織布研磨材。

【請求項4】

軟質大寸法粒子と硬質小寸法粒子との配合比率が1：9から9：1の範囲である請求項1記載の不織布研磨材。